

令和五年度一般選抜問題

国

語

(配点一〇〇点)

令和5年1月5日(木)

10時30分～11時20分

注意事項

- 一 試験開始の合図があるまでは、この問題用紙を開いてはいけません。
- 二 この問題用紙は三ページあります。落丁、乱丁、または印刷不鮮明の箇所がありましたら、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 三 この表紙および解答用紙の指定欄に、受験番号を記入してください。
- 四 解答は、必ず解答用紙の指定された箇所に入力してください。
- 五 字数制限のある問いについては、句読点やカギカッコなども一字に数えてください。
- 六 問題用紙および解答用紙は、持ち帰ってはいけません。

受 験 番 号

--	--	--	--

栃木県立衛生福祉大学校

保健看護学部 看護学科本科

問 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

この部分は、著作権の都合上公開できません。

この部分は、著作権の都合上公開できません。

(出典 中野信子『ペルソナ 脳に潜む闇』講談社現代新書)

- 注(1) スキューバダイビング——アクアラングなどの自給気式水中呼吸装置を用いた潜水。
注(2) セノーテ——約六六〇〇万年前に小惑星が衝突してできたクレーター跡に石灰岩が層をなし、そこにできた陥没穴に地下水が溜まった天然の井戸や泉。マヤの聖地となっていたものも多い。
注(3) 比熱——ある物質一グラムの温度をセ氏一度だけ高めるのに要する熱量。気体を除いた全物質の中で水の比熱が最大である。
注(4) タンク——圧縮空気を詰めたボンベのこと。スクューバダイビング時に背負う機材。
注(5) 生理的食塩水——体液と浸透性を等しくした食塩水。ヒトでは濃度約〇・九パーセントの食塩水。
注(6) 経口補水液——水に電解質と糖質を配合した飲み物のこと。普通の水に比べて体への吸収速度が速く、脱水症状の治療に用いられる。
注(7) グラン・ブルー——伝説のフリーダイバーとして知られるジャック・マイヨールをモデルにした一九八八年公開の映画のタイトルでもあり、筆者はそれを意識してこの語を用いている。
注(8) 潜降——ダイビングのスキルの一つで、水面から水中に入っていくことを表す用語。

問一 傍線部①～⑧のカタカナを漢字に直しなさい。大きく正確な楷書で書くこと。

問二 傍線部 a s h の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

問三 傍線部(一)「私たちは昔、海からやって来たのだ」とあるが、どういふことか。その説明として適当な連続する三つの文を本文中から抜き出し、はじめと終わりの五字ずつで答えなさい。

問四 空欄部(二)に当てはまる、体液に近い液体を飲み込む様子を表す擬態語として最も適当な語を、次の中から一つだけ選んで記号で答えなさい。

ア するり イ さらり ウ ごくり エ ぬるり オ そろり

問五 傍線部(三)「あの」の指示のしかたと同様なものを、次の中から一つだけ選んで記号で答えなさい。

ア 海のかなたに夕日が沈んでゆくが、あの赤さを見ると自然に涙が流れるね。
イ 本格的な春がおとずれて、あの街この街でいつせいに桜の花が開花したよ。
ウ 誰もが経験した少年時代の、あの夢と希望に満ちあふれた頃を懐かしんだ。
エ さっきの君のダッシュは、あのくらい速ければ優勝間違いないといえるね。

問六 傍線部(四)「水に溶けていく感覚」の説明として最も適当なものを、次の中から一つだけ選んで記号で答えなさい。

ア 水と一体になったような感覚。 イ 水を完全に征服したような感覚。
ウ 水を思いのままにできる感覚。 エ 水がなくなつて自由になつた感覚。
オ 水の中でも呼吸が楽になつた感覚。

問七 傍線部(五)「私たちの内部に抱えている海」とは何か。本文中の語句を用いて二十字以内で答えなさい。

問八 傍線部(六)「私たちがいたかもしれない場所」とあるが、この表現をわかりやすく「私たち□□□がいたかもしれない場所」と言い換えるとしたら、空欄部に入る三文字は何か、答えなさい。

問九 傍線部(七)「生きなければならぬ気持ちのほうはまだわずかでも勝っているから、こうして生きていられるわけだけだ」とあるが、この表現には筆者のどのような思いが込められていると想像されるか。「けれど」という文末の表現に注意し、「還りた気持ち」と「生きなければならぬ気持ち」という二つの語を必ず用いて、この二つの気持ちの強さを比較する形で七十字以内で答えなさい。